

皆さんの写経を須磨寺までお送り下さい！

皆さんの安寧や願い（想い）、そして一日も早い新型コロナウイルス終息を、須磨寺にて毎日ご祈願させて頂きます。

疫病の流行により、外出の自粛の要請が出された今、多くの方が不安を抱え、自宅でお過ごしのことと思います。このような時にこそ、皆様に、ご自宅で写経をしていただき、心安らかな祈りの時間を過ごしていただきたいと思っております。そして、お書きいただいた写経を須磨寺に郵送していただければ、須磨寺ご本尊の聖観世音菩薩様のご宝前にお供えし、毎朝の勤行で、皆様の安寧と疫病退散の祈りを捧げます。

平安時代、弘仁九年（八一八年）の春、世に疫病が広まり多くの人々が大変な苦しみを受けた時、嵯峨天皇陛下は、弘法大師様の勧めにより、自ら紺紙金泥で一字三礼の誠を尽くして、般若心経一巻を浄写し奉られました。

弘法大師様は、嵯峨御所の五大明王に天下泰平を祈禱されたところ、靈験たちまちに顕れ、人々に平安がおとずれたと伝わります。

今こそ、目に見えないウイルスに対して、目に見えない祈りの力を集結し、新型コロナウイルス終息を祈念したいと考えております。

疫病退散の為、そしてご自身の安心（あんじん）を得る
為に、写経をしていただき、皆様の祈りの心をお届けくだ
さい。よろしくお願いいたします。

合掌

写経の作法

- 一、手を洗い、口をすすいで身を清める
- 二、良いかおりの香を焚き、室内を清める
- 三、着座して心を鎮める

四、合掌礼拝

五、開経偈（声を出してお唱えする）

無上甚深微妙の法は百千万劫にも遇遭うこと難し

我いま見聞し受持することを得たり 願わくば如来の

眞実義を解し奉らんことを

六、願文読誦（声を出してお唱えする）

我れ今至心に懺悔し 謹みて般若心経を写経し奉
る

仰ぎ願わくは一字一文法界に遍じ、三世十方の諸仏に
供養し奉らん

七、浄写（無我の境地に入り、至心に写経する）

八、祈念（それぞれの願いごとを書き、念ずる）

九、般若心経読誦（浄写したお経に目を通しながら唱える）

十、ご宝号（三遍唱える）

南無大師遍照金剛

十一、回向

願ねがわくば此この功徳くどくを以もつて 普あまねく一切いっさいに及およぼし
我等われらと衆生しゅじょうと皆共みなともに 仏道ぶつどうを成じょうせんことを

十二、合掌礼拝

以上